

# 浦野家通信 6月

〒550-0012  
大阪市西区立売堀1-9-10  
HOWAビル701号  
TEL 06-6536-7560  
浦野会計事務所  
第92号  
発行人：所員一同

そろそろ梅雨入りも近いようですがいかがお過ごしでしょうか。  
梅雨冷えに体調を崩されませんようにお気を付けください。

## 6月の予定

6月10日（月）

- ・5月分 源泉所得税 ・住民税の特別徴収税額の納付

6月17日（月）

- ・所得税の予定納税の通知

7月1日（月）

- ・4月決算法人の確定申告と納税
- ・10月決算法人の中間申告と納税
- ・7,10,1月決算法人の消費税の3か月ごとの中間申告
- ・5月分社会保険料納付

## 電子メールの添付ファイルの危険性

電子メールにファイルを添付する機能は便利ですが、その分リスクも伴います。

電子メールに添付できるファイルの種類はほとんど決まっており、

メールソフトが受け付けるファイルサイズやファイル数が唯一の制限となります。

しかし、ネットワーク経由で送信される他のファイルと同様に、電子メールの添付ファイルにも危険なコンテンツや悪意のあるコンテンツが含まれている場合があります、

端末をマルウェアに感染させる可能性があるのです。

## Chatwork

当事務所とチャットワークにてやり取りをされている方々に関しましては、  
往来通りチャットワークにて資料などをご送付いただいで構いません。

チャットワークは情報管理体制の構築やセキュリティ監査などの  
環境が整っているアプリのため安心してご利用いただけます。

## セキュアSAMBA

当事務所とメールなどでやり取りをされている方々に関しまして、前述の通り、  
電子メールにファイルを添付して送信することはリスクが伴います。そのため

当事務所から資料など送付する際は、「セキュアSAMBA」という

安全にファイル共有等行えるサービスを利用しております。

資料を閲覧するためのパスワード、ダウンロードをするためのURLリンク  
計2通のメールが送信されますのでそちらをご確認ください。



# 定額減税のおさらい

岸田政権肝いりの定額減税が6月支給の給与よりいよいよ開始されます。  
もう一度定額減税の対象者と給与所得者の定額減税の実施方法について  
おさらいしていききたいと思います。

## 【定額減税の対象者】

令和6年分所得税の納税者である居住者で、  
令和6年分の所得税に係る合計所得金額が  
1,805万円以下である方  
(給与収入のみの方の場合  
給与収入が2,000万円以下の方)

## 【減税額】

特別控除の額は、次の金額の合計額です。  
ただし、その合計額がその人の所得税額を  
超える場合にはその所得税額が限度となります

- ①本人・・・30,000円
- ②同一生計配偶者又は扶養親族  
・・・1人につき30,000円

## 【給与所得者の定額減税の実施方法】

給与所得者の方に対する定額減税は、扶養控除等申告書を提出している勤務先において令和6年6月1日以後最初に支払われる給与等（賞与を含みます。）に対する源泉徴収税額から定額減税額が控除される方法で行われます。

令和6年中の給与に係る源泉徴収税額から引ききれない場合は  
令和7年に引ききれなかった金額について給付が行われます。

上記の減税の実施方法の対象となるのは6月1日時点で、在職されている方のみとなります。6月1日以降に就職された方については月々の減税は行わず  
年末調整で一括で減税額を調整することになりますのでご注意ください。

また、減税した金額を給与明細に明記することが義務化されるよう  
ですので記載を忘れないようにしてください。



MyKomon



MyKomonの「楽しい給与計算」  
というツールを使うと  
定額減税の管理が容易になります！  
月額1,000円で利用できますので  
気になる方はご連絡ください☆

最新の梅雨入り予想では、近畿地方の梅雨入りは6月中旬となる見通しのようです。  
6月1日(土)から14日(金)にかけては、平年と同じように曇りや雨の日が多くなるでしょう。

6月の第一週は前線が南へ離れ、晴れる日がありそうですが、第二週にさしかかると  
前線が西日本付近まで次第に北上し、曇りや雨の日が続く見込みです。

このタイミングで近畿地方は梅雨入りとなる可能性があります。

これまでは、雨が降ると気温が上がらずヒンヤリしましたが、

これからは、雨の日も気温が高く、蒸し暑くなるようです。熱中症などお気をつけください。

## 水無月



水無月の「無」は、「の」にあたる連体助詞「な」であるため、「水の月」という意味になります。今まで水の無かった田んぼに水を注ぎ入れる頃であることから、「水無月」や「水月(みなづき・すいげつ)」「水張月(みずはりづき)」と呼ばれるようになりました。この時期の雨は稲が実を結ぶために重要なものであるため、豊作を願う人々の思いがこの呼び名に表れているともいわれています。